

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年9月20日(最終)

### 2005年9月18日概況：

9月18日に終わる1週間の気温は平年並みであった。最高気温は70度前半から80度F前半、最低気温は34~41度F程度であった。週の終わりに冷たい前線が北より張り出し、17日、18日に各地に降雨をもたらした。降水量は0.16~0.64 (NC) インチであった。1週間の農作業稼働日数は5.9日(前週：5.9日)であった。

ノースダコタ州のHRSの収穫は全州で完了した。Durum小麦はNW地区、NE地区を残して他地区は略完了した。昨年並びに5年平均より早い進捗であった。

2005年産HRSの品種は、Reeder並びにBriggsが増加したが、昨年同様トップはAlsenであった。全体の23.1%を占め、続きReeder、Briggs、Graniteの順であった。Reeder、Briggsは2002年にリリースされた品種であり、近年伸びている。AllenはNW、NCを中心に作付けられ、ReederはSE、Centに多くBriggsはCent、SE地区に多く作付けられた。

2005年8月1日付けUSDA発表のHRS及びDurum小麦の生産量予想では、HRSの単位収量は7月1日予想より3.0 bu/ac 落ち38.0 bu/acとなった。Durum小麦の予想は7月1日と同じ34.0 bu/acであった。7月の高温・乾燥でHRWは登熟が早まったが単収の減少予想となった。

詳細は別表の通り。

### 土壌水分：2005年9月18日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	6	5	12	15
Short (%)	32	31	20	30
Adequate (%)	57	59	61	51
Surplus (%)	5	5	7	4
Subsoil				
Very short (%)	5	5	19	18
Short (%)	28	26	19	28
Adequate (%)	62	64	56	51
Surplus (%)	5	5	6	3

### 小麦生育状況：2005年9月18日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat Harvested (%)	88	83	49	80

Source: ND Agricultural Statistics Service

2005年8月1日付けUSDA生産量予想：

	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				July 1	Aug 1		
HRS	5,950	6,600	41.0	41.0	38.0	243,950	250,800
USA	13,174	13,637	43.2	43.2	40.6	568,918	553,375
Durum	1,600	1,700	33.0	34.0	34.0	52,800	57,800
USA	2,363	2,453	38.0	38.4	37.9	89,893	92,955

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)